

令和6年度西区実施プラン 期末報告

令和7年（2025年）3月 札幌市西区

西区では、毎年度「西区実施プラン」を策定し、区の使命と区運営の目標・基本方針を定め、それに沿って計画した各重点取組項目について、検証しながら進めてきました。

その結果、令和6年度の取組結果の概要は、次のとおりとなりましたのでご報告いたします。

令和7年度以降も、区民の皆様と連携しながら、区民が主役のまちづくりを進めてまいります。

令和7年（2025年）3月31日

西区長 村上 文章

I 西区実施プランの全体

◇ 西区の使命

区民誰もが健康で安心して生き生きと暮らすことができるように、地域の主体的なまちづくり活動を支援し、区民の皆さまとともに持続可能な西区のまちづくりを進めてまいります。

◇ 西区の運営方針

西区は、第2次札幌市まちづくり戦略ビジョンに基づく安全・安心、環境、文化の各事業を中心に行うとともに、次の3つの方針でまちづくりや区役所運営を進めます。

1. 誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり
2. 地域の豊かな自然環境や文化芸術を生かしたまちづくり
3. 市民感覚を大切にした地域とともに進めるまちづくり

- ・各部の目標
- ・運営方針実現のための取組

Ⅱ 運営方針実現のための取組

1 誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり

(1) 地域の防災力強化

小中学校などの基幹避難所において、区職員、学校職員及び地域住民の3者で実際に避難所の設営・運営などを体験する避難所開設訓練や避難所運営研修を実施しました。

また、地域で自主防災活動に取り組む方に対して、防災資機材の取扱いや応急手当を学ぶことができる防災実技研修を行いました。

さらに、町内会等が行う自主的な防災研修会や訓練等の開催支援として、町内会に対する防災講話や小学校に対する防災教室等を行いました。



【琴似小学校での避難所開設訓練の様子】



【避難所運営研修の様子】

＜数値目標＞	避難所開設訓練・研修の参加者数	200 人	→	実績	173 人
	防災実技研修の参加者数	120 人	→	実績	86 人
	町内会に対する防災講話の参加者数			実績	約 200 人
	小学校に対する防災教室の参加者数			実績	131 人

(2) 介護予防体操の普及

住民とともに制作した介護予防体操「エコロコ！やまベエ誰でも体操」の普及員養成講座を開催し、普及員数を増やすとともに、普及員活動研修会等を通して、普及員同士の交流と普及員が地域で活躍できる機会を作りました。また、小中学生をメインターゲットとした「やまベエ体操応援隊」の隊員数を増やし、より幅広い世代へ体操を普及していくことで介護予防の推進を図りました。

＜数値目標＞	普及員数	536 人（25 人増）	→	実績	541 人（30 人増）
	応援隊員数	666 人（100 人増）	→	実績	822 人（256 人増）

(3) 地域との協働による健康づくり

健康寿命の延伸を目指し、地域における健康づくり活動の活性化を図るため、健康づくりに取り組む団体・グループの活動支援や、健康教育講座の開催、地域主催の健康講座への協力など、誰もが参加できる健康づくり事業を協働で行っており、令和6年度は市民健康教育講座を5回、地域健康教室を3回実施したほか、9月には西区民センターを会場に、地域住民、関係団体、そして、企業の協力を得て健康フェアを実施しました。また、健康づくり活動がより多くの世代に広がるよう、健康講座や子育てサロン、乳幼児健診の場などを活用し、がん検診の啓発を行いました。

(4) だれでも・いつでも・なんどでもノルディックウォーキング事業

働く世代を含む幅広い世代の区民が多様なライフスタイルに合わせ、年間を通してノルディックウォーキングを活用した健康づくりに取り組むきっかけづくりとなるよう、農試公園と保健センター、まちづくりセンター等を拠点として、ポールの無料貸し出しを行いました。また、保健センター主催の講習会を2回、農試公園主催の講習会を9回と啓発イベントを5回開催しました。

＜数値目標＞ ノルディックウォーキングを実践した人数 500人
→ 実績 642人

(5) 認知症の方や家族への支援

認知症の方がいつまでも住み慣れた地域で暮らせる「認知症にやさしいまちづくり」を目指し、パネル展・広報誌やリーフレット配布等により、区民に向けた普及啓発活動を実施しました。

また、地域包括支援センターと協働で、男性介護者の会の開催や認知症に関するボランティアの育成、認知症カフェの活用促進に向けた取り組みを行いました。

(6) 障がい者への支援

社会的に孤立している知的障がい者の方がいないか把握するため、福祉サービスを利用していない方を対象に郵送や訪問により生活状況の調査を実施しました。対象の方には福祉ガイドを送付し、福祉サービスの周知を行いました。また、民生委員への情報提供を希望する方については、情報提供カードを民生委員に提供し、情報共有を図りました。

障がい者が暮らしやすい地域づくりを目指し、「自立支援協議会西区地域部会」において、福祉サービスを提供する事業者間で支援力向上のための意見交換会や研修交流会を開催しました。また、実際に障がいを持つ子どもを育てる保護者の方をお呼びしてシンポジウムを開催し、実体験をもとにした貴重な情報を支援者間で共有しました。

(7) 安心して子育てできる地域の環境づくり

子どもをもつ家庭が地域の中で見守られながら、安心して子育てができるよう、子育て支援者講演会を開催するなど、子育てサロンや子育て支援者の活動支援を行いました。

また、こそだてインフォメーション「さんかくやまベエのへや」は約 11,000 人の利用があり、約 2,000 件の相談や情報提供を行いました。

また、支援を必要とする子ども達が地域で安心して暮らすことができるよう、保育園・幼稚園、学校、病院等、地域の関係機関と連携・協働して支援を行いました。

(8) 誰もが楽しめる公園づくり

身近な公園の全面改修を、地域の方々の声を取り入れながら、4 公園（発寒ポプラ公園・発寒いたどり公園・発寒ドレミ公園・山の手北新公園）で進めました。

また、安全・安心に公園を利用できるように、老朽化した複合遊具を 1 公園改修（平和若葉公園）するとともに、遊具の点検や更新、草刈等の維持管理を実施しました。



【平和若葉公園 複合遊具】

(9) 安全・安心な道路環境の確保

老朽化が進んでいる道路について、生活道路整備や幹線道路などの舗装の更新を 22 路線で実施しました。

また、円滑な交通を確保するため、適宜穴埋めなどの補修を行い道路面の維持管理を実施するとともに、車道 518km、歩道 262km の道路の除雪を実施しました。

さらに、日頃より災害等に備え、災害時から迅速な初期対応や復旧活動を行うため西区災害防止協力会等と共同で防災訓練を実施しました。



2 地域の豊かな自然環境や文化芸術を生かしたまちづくり

(1) 琴似発寒川的环境保全推進事業

地域住民が主体となって実施する琴似発寒川的环境保全活動を支援しました。

① 琴似発寒川一斉清掃

西区内の連合町内会が参加して、春に琴似発寒川及び左股川の河畔約6km7会場を清掃しました（2会場については、会場近隣でヒグマの目撃情報があったため、清掃を中止）。

② やまめの稚魚放流

一斉清掃の翌週に琴似発寒川及び左股川の流域2会場で、各会場近隣の連合町内会が参加して、「やまめ」の稚魚約26,000匹を放流しました（3会場については、会場近隣でヒグマの目撃情報があったため、放流を中止）。

(2) 西区環境まちづくり協議会等支援事業

西区の豊かで恵まれた自然環境を次世代に引き継ぐため、「西区環境まちづくり協議会」や区民・団体・企業など、地域の人々が主体的に取り組む環境活動などを支援しました。

① 西区環境まちづくり協議会に対する支援

令和6年5月に設立20周年を迎えた西区環境まちづくり協議会の運営及び活動の支援を行いました。

<主な活動>

◆「エコキッズ・プログラム」、「親子でエコキッズ・プログラム」、「西区コドモ自然学校」

○「エコキッズ・プログラム」では、小学生や未就学児（小学校・保育園等の単位で参加者を募集する。）を対象として、五天山公園や琴似発寒川などで、昆虫や植物を観察する自然体験教室や川の生き物を観察する水生生物観察会等を実施しました。

・34回開催、延べ1,596人参加



【エコキッズ・プログラムの様子】

○「親子でエコキッズ・プログラム」では、2歳・3歳の子どもとその保護者を対象として、西区の自然を活かした遊びや散策、食事などの活動を通じて、自然とのふれあい方を学ぶ機会を提供しました。

・2回開催、延べ17組36人参加

○「西区コドモ自然学校」では、自然の中での活動に興味のある西区内の小学生4～6年生を対象に、西区の自然を活かした自然体験活動を行い、身近な自然に親しみ、楽しみながら環境について学ぶ機会を提供しました。

・3回開催、延べ49人参加

◆「親子で環境満喫バスツアー」

西区内の小学生とその保護者を対象に、環境活動やリサイクルの取り組みについて関心を持ってもらうことを目的としてバスツアーを実施しました。石狩市古潭海岸において、ビーチコーミング（漂着物の採取）活動及び海岸清掃を行いながら学芸員の解説を受け、身近な自然環境や海洋プラスチックごみ問題について学びました。

- ・ 2 回開催、親子 34 組 68 人参加



【ビーチコーミングしている様子】

◆「西区こども環境広場」

札幌市生涯学習センターちえりあにて、様々な体験やゲームを通じて楽しみながら環境について学ぶ体験型イベント「西区こども環境広場」を開催しました。西区環境まちづくり協議会の構成団体や区内の企業がブースを出展したほか、ステージイベントでは「子ども環境活動発表会」や「サイエンスショー」、「エコマジックショー」などを実施しました。（12 月 7 日実施）

- ・ 1,262 人参加



【子ども環境活動発表会の様子】

◆「子供服のリユース事業」（20 周年記念事業）

ごみ減量や不用品再使用の促進のため、家庭で不用になった子ども服を区内 16 か所で5月 15 日から 10 月 31 日まで回収し、西区こども環境広場等のイベントにおいて必要とされる方に譲渡する地域循環型のリユース事業を実施しました。

- ・ 回収数：13,480 点（うち 12,958 点を譲渡）



【子ども服を譲渡している様子】

◆「川活動用ライフジャケットの更新」（20 周年記念事業）

エコキッズ・プログラムで着用する子ども用ライフジャケットが、購入から 10 年が経過したため、安全面への配慮から更新を行いました。

- ・ 購入数：100 着



【購入したライフジャケット】

※ その他の実施事業と参加人数

西区子ども体験学校：12 人

エコ映画会：345 人

＜数値目標＞ 事業参加人数 2,650 人 → 実績 3,368 人

② 西区アダプト・プログラム

環境美化に対する市民意識の高揚を図るとともに、市民と行政との協働による環境美化活動を推進するため、企業や学校、商店街などの地域団体と西区役所が協定を結び、身近な道路や公園といった公共の場所を清掃するなど、継続的にまちの美化活動を行いました。今年度は1団体が新たに参加しました（登録団体数 59 団体）。

（３）西区SDGs普及啓発事業

SDGs への理解を広め、身近なところから SDGs の推進を図っていくことを目的に、日々の暮らしの中で SDGs を意識するきっかけづくりとして、5 回目となる「西区 SDGs フォトコンテスト 2024」を開催しました。

また、区内の SDGs に取り組む企業や団体と連携し、ごみ拾いにスポーツの競技性を加えた、楽しみながらまちを美しくする「西区スポGOMI 大会」や工場見学を通じて鉄スクラップをリサイクルしている取組みを学ぶ「親子で学ぼう！西区 SDGs 工場見学会」を実施するなど、広く SDGs の普及啓発を進めました。

＜数値目標＞ SDGs フォトコンテスト応募作品数 190 作品 → 実績 164 作品

（４）地域の文化芸術活動の推進

西区には様々な文化関連施設が設置されており、本格的な文化芸術に触れることができる環境を生かして、区民の方に対し、上質な文化芸術に触れる機会を創出しました。区内の文化芸術活動のすそ野を広げるため、親子で楽しめる事業にも力を入れました。

① 西区文化フェスタ 2024

9 月 14 日（土）から 29 日（日）の期間、西区内の文化施設を使用して、演劇、音楽、日舞、華道、書道、コンサート、ダンスなど様々なジャンルの公演を開催しました。期間中 12 団体が出演し、12 公演を開催、期間合計での来場者数は 1,200 名を超える結果となりました。



【西区文化フェスタ 2024】

② コトニジャズ・コトニクラシック

コトニジャズは6月と10月に地下鉄琴似駅、2月にスペシャル版として「コトニジャズスペシャル」をちえりあホールにて開催しました。



【コトニジャズスペシャル in ちえりあ】

コトニクラシックは9月に生活支援型文化施設コンカリーニョ、2月に西区民センター区民ホール、3月にターミナルプラザことパトスにて開催しました。

令和6年度は計6回開催し、多くの皆さんにご来場いただきました。



【コトニクラシック in コンカリーニョ】

③ にしく♪ちびっこミュージックプロムナード

12月7日（土）、0歳から6歳までの未就学のお子さんとそのご家族を対象にRoute148（ルートイシヤ）で開催し、PMF（パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌）修了生をメインとした北海道内で活躍する7人に演奏いただきました。過去2年の実施状況を踏まえ、より多くの方々にご参加いただけるよう、今回は事前申込型から当日参加型とし、2回合わせて約340人の方にご来場いただきました。



【にしく♪ちびっこミュージックプロムナード（Route148（ルートイシヤ））】

④ こども・あーと・にしく

子どもたちが楽しみながら芸術に親しむことのできる機会を提供する「こども・あーと・にしく」。2月8日（土）、西区民センターを会場に、車のフロントガラスの製造過程で出る廃材から生まれたエコな透明絵の具「ディンプルアート・カラー」でステンドグラス風の作品を制作するワークショップ「ディンプルアートでステンドグラス風の作品をつくろう！」を開催しました。子どもたちは、普段触れることのない画材に目を輝かせながら、真剣な面持ちで制作に取り組んでいました。



【こども・あーと・にしく～ディンプルアートでステンドグラス風の作品をつくろう！～（西区民センター）】

(5) 緑あふれるまちづくり

花苗を町内会などに提供し、歩道美化に取り組みました（28 路線の 63 団体へ 12,330 株を配布）。



3 市民感覚を大切にしたい地域とともに進めるまちづくり

(1) 地域の課題解決をサポート

住民自ら地域の課題を解決する“地域力”の向上を目指し、区内に8か所ある「まちづくりセンター」が住民とともに地域の伝統文化などの魅力や、町内会活動をはじめとした担い手不足などの課題を踏まえたさまざまな事業を行いました。

また、持続可能な町内会活動支援や加入促進の一環として、町内会活動の役割や必要性への周知を図り理解を深めるため、町内会活動を紹介するリーフレットや啓発品を転入者に配布するなどの様々な支援を、町内会のニーズにあわせて行いました。

八軒まちづくりセンター

「地域の力を結集し支え合うまちづくり -高齢者の見守り・防犯・防災-」

八軒地区では、八軒連合町内会を中心に、関係団体や事業者などをメンバーとする「八軒まちづくり協議会」を結成。安全・安心なまちづくり、地域で支え合うまちづくりを進めています。

今年度は災害発生時における要配慮者の避難支援について、地域での支え合いを考える研修会を開催したほか、HUG（避難所運営ゲーム）を実施し避難所の運営に関する知識向上を図りました。また、八軒地区の住民活動を広く知っていただくために、三角山放送局において各団体の活動紹介など地域の情報を発信しました。



【要配慮者の避難支援研修】
(44 名が参加)



【HUG 研修の状況】
(41 名が参加)



【三角山放送局からの情報発信】
(50 回/年)

琴似二十四軒まちづくりセンター

「琴似二十四軒地区のまちづくり活動支援事業」

◆琴似屯田菜園ふれあいフェア（8/25）

琴似連合町内会が管理する屯田菜園の活動周知を兼ねた「琴似屯田菜園ふれあいフェア」の企画・運営を支援。（300 名来場）



【琴似屯田菜園ふれあいフェア（8/25）】
（場所：ホテルコトニ札幌コトニガーデン）

◆町内会デジタル化支援（9/24）

町内会の情報共有に LINE 等を活用し、役員等の負担軽減を図ることを狙いとして、習熟度に応じた研修会を開催。（延べ 14 名参加）



【町内会デジタル化支援研修会（9/24）】
（二十四軒連合町内会）

西町まちづくりセンター

「子ども達の夢を応援！！西町・コンサ通りまちづくり事業」

未来を担う子どもたちが地域への愛着をより一層深められるような、活気ある住みよい街を目指した取組を推進しています。



【選手への質問コーナー（西小）】

◆北海道コンサドーレ札幌サッカー選手と児童の交流（令和6年10月）

（西小6年生、手稲宮丘小6年生、2校計248名）



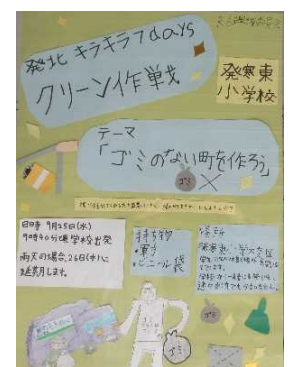
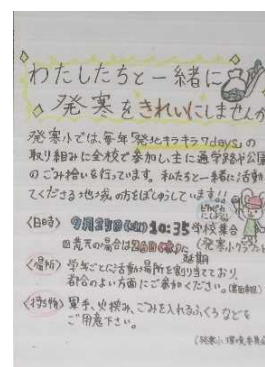
【交流ゲームの様子（手稲宮丘小）】

発寒北まちづくりセンター

「発寒キラキラ7days（一斉環境美化）事業」

平成23年（2011年）から地域で取組んでいる清掃活動。発寒北安心して暮らせるまち協議会（まち協）の取組として、町内会、学校、商店街等が無理なく参加・協力・連携する地域を代表する事業となっています。

今年度は、発寒小学校と発寒東小学校の児童が地域の皆さんへの参加案内ポスターを作成し、さらに回覧板で参加を呼び掛けました。約800人が活動に参加し、地域と学校の連携がより深まりました。



【小学生から地域への案内】



【活動の様子】

西野まちづくりセンター

「水車のあるまちエコCity 西野」

西野地区の子どもたちが、かつて水田地帯であった西野の歴史や文化について地域と交流しながら学び、郷土愛を醸成する取り組みを進めています。

◆第16回水車で地域交流会（令和6年9月28日、場所：五天山公園）

小学生 23 名に加え西野連合町内会・昭和連合町内会、青少年育成委員会、児童会館、小学校、西陵高校ボランティア局など総勢 110 名が参加。



【玄米の精米体験】



【わら縄作り・縄跳び】



【薪割体験】

山の手まちづくりセンター

「三角山で育む“まちづくり心”支援事業」

三角山ボランティアが中心となって企画運営する魅力発信・保全・登山マナーの啓発等の活動を通じて、市民が三角山に親しむ事業を支援しました。

三角山健康登山スタンプラリーや山の手地区文化祭での三角山写真展のほか小学校での三角山と人々の歴史総合学習支援を行いました。

※「三角山ボランティア整備登山」「山の手子供すくすく育み隊三角山登山」は、クマ出没の影響により実施できませんでした。

三角山健康登山スタンプラリー

(参加 270 名)

山の手シンボル三角山の魅力にふれながら、健康づくりに参加してほしいと、月に3回山頂下にある四阿内のスタンプを押した方にポストカードを進呈するスタンプラリーを実施しました。



スタンプラリーの参加方法

① スタンプを押す
山の手地区の各所にスタンプの設置があります。毎月のスタンプラリーの日にスタンプを押すことで、山の手地区の魅力を発信します。山の手地区のシンボル三角山の魅力を発信します。

② ポストカードを進呈する
月に3回のスタンプラリーの日に、山の手地区のシンボル三角山の魅力を発信します。山の手地区のシンボル三角山の魅力を発信します。

③ ポストカードを進呈する
山の手地区のシンボル三角山の魅力を発信します。山の手地区のシンボル三角山の魅力を発信します。

三角山健康登山スタンプラリーについて

三角山健康登山スタンプラリーは、山の手地区のシンボル三角山の魅力を発信します。山の手地区のシンボル三角山の魅力を発信します。

三角山健康登山スタンプラリーは、山の手地区のシンボル三角山の魅力を発信します。山の手地区のシンボル三角山の魅力を発信します。

三角山健康登山スタンプラリー

三角山健康登山スタンプラリーは、山の手地区のシンボル三角山の魅力を発信します。山の手地区のシンボル三角山の魅力を発信します。

三角山健康登山スタンプラリーは、山の手地区のシンボル三角山の魅力を発信します。山の手地区のシンボル三角山の魅力を発信します。

三角山健康登山スタンプラリー

5月 6月 7月 8月 9月 10月

① ① ① ① ① ①

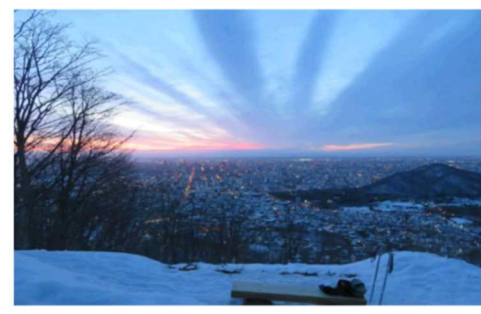
② ② ② ② ② ②

③ ③ ③ ③ ③ ③

★このスタンプラリーへの参加費（参加費・参加費・参加費）

★参加費（参加費・参加費・参加費）

★参加費（参加費・参加費・参加費）



三角山写真展

(来場者数 130 名)

「山の手地区文化祭」の中で「三角山写真展」を開催。三角山ボランティアの撮影した三角山の魅力を楽しみました。



総合学習支援

(参加合計 160 名)

山の手南小 5 年生 (3 クラス/81 名)・山の手小 3 年生 (3 クラス/79 名) の総合学習に三角山ボランティアが協力し、三角山や山の手地区の歴史 (今昔) について学びました。



【山の手南小学校 5 年生】



【山の手小学校 3 年生】

発寒まちづくりセンター

『地球にやさしいまちづくり推進事業「エコタウンはっさむ」』

次代を担う子どもたちと地域 (町内会・商店街等) が一緒に環境にやさしい取組を行う「エコタウンはっさむ」の活動を平成 20 年から実施しています。

発寒大空公園とはつなん公園の落葉を発酵させて堆肥にする「みどりの貯金箱」では、発寒南小の児童が参加。出来上がった堆肥は地域の花壇等で使われています。(堆肥の配布 97 人、堆肥化作業 156 人参加)



【みどりの貯金箱：堆肥の配布】



【廃材を活用したよせ木アート作り】



【アイスクャンドルイベント】

廃食油や廃材を活用するアップサイクル (創造的再利用) 活動を、商店街のイベントや介護予防センター主催のすこやか倶楽部で実施したほか、廃食油と使用済みのローソクから作るエコキャンドルを使

って、アイスクャンドルイベントを実施しました。廃食油は商店街で回収したものを利用し、廃材は地元の木工所から、使用済みのローソクは地元の葬儀会社から提供いただきました。エコキャンドルの作成とイベント当日のキャンドル点灯には発寒児童会館の児童たちが協力してくれました。(アップサイクル活動 181 人、アイスクャンドルイベント運営等 76 人参加)

八軒中央まちづくりセンター

「八軒中央会館利用促進事業」

地区会館である八軒中央会館の持続的な運営と地域活動の活性化を目的として、会館の利用促進を支援するため、その魅力を紹介するリーフレットを作成。地域内に約5,000部を配布し、地域住民の認知度向上を図りました。



会館のおすすめポイントを会館利用者の声を交えながら、地域のマスコットキャラクターはっけんくんが紹介しています。

(2) 冬の暮らしに親しむ雪体験授業の実施

将来のまちづくりを担う子どもたちが、冬の暮らしに関心を持ち、札幌の雪対策に対する理解が深まるよう、小学生を対象に札幌市の除雪に関する出前授業や除雪機械試乗体験、砂入りペットボトル製作体験等の雪体験授業を実施しました。



【雪体験授業（出前授業）】



【雪体験授業（体験学習）】

(3) 区内のまちづくり活動の情報発信

活動の担い手の発掘や参加の促進につなげるため、町内会をはじめとするさまざまなまちづくり活動を、広報さっぽろの表紙（写真 32 枚）、西区ホームページ（55 件）や西区役所 1 階ロビーのデジタルサイネージ（電子看板）で配信している「西区ニュース」（24 件）で広く紹介しました。

また、広報さっぽろに西区で活躍している方などを紹介する企画「今月のやまベエフレンズ」（3 回）を連載しました。



【西区ホームページ】



【やまベエフレンズ】



【デジタルサイネージに表示した西区ニュース】

(4) 選挙啓発活動の推進

未来の有権者である子どもたちに選挙の大切さを学んでもらうとともに、政治や選挙を身近に感じてもらうため、「せんきょ体験授業」と「西区明るい選挙啓発書道作品展」を実施しました。

①せんきょ体験授業

区内の小学校に通う 6 年生の児童を対象に、区選挙管理委員会事務局の職員が講師となって政治や選挙に関する講義や模擬投票を行いました。

【参加小学校：17 校、参加児童数：1,329 人】



【模擬投票の様子】

②西区明るい選挙啓発書道作品展

区内の小学校に通う 4 年生から 6 年生の児童を対象に書道作品を募集し、入賞作品 18 点を含む全応募作品について、西区民センター 1 階ロビーに展示しました。

【応募作品数：983 点】



【作品展（西区民センターロビー）の様子】

(5) 窓口混雑緩和の取組の実施

行政サービスの向上に向けて、区役所に来なくてもできる手続きや窓口よりも 100 円安く証明書を取得できるコンビニ交付サービスについて、区役所ホームページなどでお知らせしました。また、住所異動やマイナンバーカードなどの手続きのために来庁した方には、待ち時間に他の用事を済ませることができるよう、受付の順番が近くになったらお知らせするメール呼出サービスの利用を案内することで窓口の混雑緩和につなげられるよう努めました。

また、繁忙期には区役所 1 階第 5 会議室に腰掛けて待つことのできる臨時待合室を設置しました。